

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビジョントレーニング療育ベすとびじょん		
○保護者評価実施期間	7年 3月 1日		7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 22件
○従業者評価実施期間	7年 3月 1日		7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 4月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基礎学力をつける	目の使い方を整え、集中力アップのためのトレーニング 読み書き計算に必要な資格認知を強化するトレーニング	「見る力」は「学ぶ力」の土台となるため、更なるトレーニング内容の充実化に努め取り組んでいく。

2	技術力をつける	バランス感覚やボディイメージを養うトレーニング 視覚×感覚統合トレーニング	運動能力も、目と身体の協調が鍵となるので、一人ひとりの発達に応じた、支援プログラムを提供していく。
3	実践力をつける	考えて動くトレーニング コミュニケーション力・社会性を高めるトレーニング 自己肯定感を育み、チャレンジ精神を引き出すトレーニング	「見る→分かる→動く」のプロセスを習得し、未来へつなぐ力を養い、いつでも・どこでも・だれとでも、持っている力を発揮していける力を育てていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携の充実が必要	他の事業所との交流など、こちらに来てもらうばかりなので、こちらからも見学に行き、他の場所での子ども様子を把握していく必要がある。	全職員と話し合いをし、時間の調整を工夫していく。
2	保護者と更なるこまめな情報共有が必要	送迎の際に、お会いできない保護者様もたくさんいるため、サービス提供記録以外での、何らかの方法で、情報共有を連携していける手段を考えていく必要がある。	全職員と話し合いをし、時間の調整を工夫していく。

3			
---	--	--	--

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ビジョントレーニング療育べすとびじょん

公表日 7年 4月 13日

今回ご意見が大変少なかったため、対応欄には、工夫している点や改善策を記入しております。

利用児童数 34名

回収数 22件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21			1		子どもの人数や特性に応じて、活動内容のスペースを工夫しています。 午前と午後（未就学の低年齢・高年齢、そして就学児童）と、曜日と時間で分けて固定し、人数に応じてのスペース確保をおこない調整しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21			1		利用児童の年齢によって、適正な人数の工夫をおこなっています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			1		見通しが崩れた子ども対応のために、気持ちの切り替えスペースを確保しています。 当事業所はバリアフリーの対応はしておりませんが、階段には滑り止め、手摺りには安全に握りやすい配慮をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			1	子どもが集中しやすい環境になっていると思います。	放課後デイの後は、ごみ箱がお菓子の袋でいっぱいになっているときがあるので、こまめな掃除と片付けには配慮してまいります。 活動スペースには、刺激となるものは置かないように工夫しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1		お子さまの困り感や生活のしづらさを理解し、見立てに対しての手立て策を考慮していただけますよう、より一層、職員全体のスキルアップに努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					公表している支援プログラムに沿って、支援計画を考え、トレーニングに組み込んでいけるように努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21			1		保護者様の意向を聞き取り、子どもたち一人ひとりの発達段階を見極めた上で、支援内容を考慮し努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		2		一人ひとりの発達課題に応じた本人支援を考慮しています。また、家族支援・移行支援・地域支援においても、それぞれの支援に必要な内容を工夫し組み込んでいけますように努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1				その日の利用児童に沿ったねらいを決め、活動内容を考え工夫しています。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					日頃から、子どもたちの行動を振り返り、集中が長続きしにくい子どもたちでも飽きがないように工夫しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	2	7		地域との交流の必要性を感じていますが、保護者様の中には、交流を行ってほしくないというご意見もございますので、十分に話し合っており取り組んでまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					意識して行っております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			1		同意を得ています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	2		2	研修会や勉強会などの案内は多いが、ペアレントトレーニングなどの案内は少ない。	更に、もっと増やしてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	2			面談においては、ゆっくりとお話ができているが、普段の日常では、なかなか、先生とお話する機会が少ない。	送迎時にお会いできる保護者様に対しては、日頃の様子をお伝えするなどの配慮をおこなっていますが、お会いできない保護者様に対しては、細やかな対応は足りていないところもあります。ご満足いただけますように、改善に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4				定期的な面談は行っております。また、保護者より相談のご依頼があった場合には、すぐに時間調整を行い、面談が連絡にて話し合いをしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2				引き続き、皆様にご満足いただけますよう、質の良い支援をご提供できますよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	1	6		祝日イベントでは保護者様にもご参加いただき、保護者同士や子ども同士のコミュニケーションが取れています。また、イベントには、無料できょうだいにも参加していただいています。祝日イベントでは、その他、親子体験会や、勉強会や交流会も実施しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2				相談を受けた場合には、関わっている職員全員で話し合い、共有し、より良い対策を考慮し対応しています。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					「目で見てわかること」を大切に相手方には最善の工夫を考慮しています。特に一人ひとりの発達の段階や年齢に応じて、場面の切り替わりや、事前予告など工夫しておこなっています。保護者に対しても、分かりやすく説明をおこない、見通しを持って安心してもらえるように工夫し改善に努めてまいります。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		1	事業所で導入しているHUGソフトや、保護者メールにより、常に保護者様にはお知らせをおこなっています。また、自社のホームページにて、必要なものは公表しております。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22				HUGにより、色々と情報を掲載していますが、他の友だちの顔部分を分からないように隠して公開するなどの配慮や、SNSへの投稿や動画配信などは一切載せないことなど、十分に配慮しております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			5	大きな地震（南海トラフ）などの災害が起こった際、事業所から別の場所に避難しなければならない時もあるかもしれません。具体的に非難しうる別の場所など等、示していただけると安心です。（災害時、通信状況もどうなっているかわからないので）	引き続き、色々な予測される場面についての対応策を、より詳しく、分かりやすい文章にして、各ご家庭に発信してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		3		月に1度、話し合いを行っております。また、定期的に訓練も行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22					定期的な見直しや話し合いが必要と感じています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			5		最善を尽くし対応させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1		3		安心はもちろんの事、満足していただけるトレーニング内容を、これからも工夫し取り組んでまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22					お子さま、一人ひとりに楽しんで通っていただけますよう、内容を創意工夫し努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1		1		引き続き、皆様にご満足いただけますよう、質の良い支援をご提供できますよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ビジョントレーニング療育べすとびじょん		7年 4月 13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		子どもの人数や特性に応じて、活動内容のスペースを工夫しています。 午前と午後、未就学の低年齢・高年齢、そして就学児童と、曜日と時間で分けて固定し調整しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		利用児童の年齢によって、適正な人数の工夫をおこなっています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		見通しが崩れた子ども対応のために、気持ちの切り替えスペースを確保しています。 当事業所はバリアフリーの対応はしていませんが、階段には滑り止め、手摺りには安全に握りやすい工夫をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		活動スペースには、刺激となるものは置かないように工夫している。	子どもたちがおやつを食べた後のごみ箱の後始末や部屋の掃除、トレーニング倉庫の片付けなど、徹底して改善していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		子どもたちの見通しが崩れた際には、メンタル面において落ち着ける別室スペースを設けて、職員体制も工夫しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		話し合いをおこなったり、HUGを活用して、全ての職員が周知できるように工夫しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			保護者向けの評価の結果を踏まえ、改善すべき点を話し合い、これから更なる業務改善につなげていくように努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			職員間において、1日1回のミーティングにより、密に話し合いを進めています。さらなる改善をおこなっていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2		担当者会議にて、他の事業所や学校関係者の方々からのご意見をいただき、業務改善に向けての話し合いの機会は定期的に設けていますが、外部評価はおこなっていません。訪問先の評価結果はいただいておりますが、その他の関係機関についても、検討しこれからは取り組んでいきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10			他の団体への研修も、更に促進していく必要があります。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		支援プログラムは、当事業所のホームページにて、どなたにも目を通していただけるように公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		保護者の意向を聞き取り、子どもたち一人一人の発達の段階を見極めた上で、支援内容を工夫し考慮しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		個別支援計画書原案に基づき、一人一人に応じた計画作成会議をおこない、子どもの発達についての話し合いを、時間の調整を行い実施しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		ビジョントレーニングに沿った内容と、支援内容に沿ったプログラムを考慮し組み立っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			日々、意識して取り組んでいますが、更なる改善につとめていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		一人ひとりの発達課題に応じた本人支援を考慮し、家族支援・移行支援・地域支援においても、それぞれの支援に必要な内容を工夫しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		その日の利用児童に沿ったねらいを決め、職員全体で活動内容を考え工夫しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		日頃から、子どもたちの行動を振り返り、集中が長続きにくい子どもたちでも飽きがこないように工夫しています。活動メニューも毎月更新しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		完全個別指導はありませんが、対応策は必要です。現在は、見通しが崩れた際に、別室にてクールダウンのスペースと職員の配置を工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日、お昼13時よりMTGを実施しています。また、月1回、事業所全体でゆくりと時間を使いMTGを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	支援終了後には、送迎後の戻りが遅くなるため、翌日の13時からのMTGにて、前日の振り返りと対応策を話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			その日の各リーダーにより、午前・午後に分けて日報を記録し、更なる改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			引き続き、保護者様にご満足いただけますように取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		参加しています。どうしても参加が無理な時には、事前に資料を提出しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		各関係機関との連携は行っています。発達検査や訓練などへの同行は行っていませんが、保護者や保健師から、その都度、結果を情報共有し連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		各市町の保健師や相談支援員を介して、細かな情報共有をおこなっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		各市町の保健師や相談支援員を介して、細かな情報を提供し共有をおこなっています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	(31は、事業所のみ回答)					

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		各市町の児童発達支援センターの保健師や相談支援員とは、こまめに情報共有をおこない、定期的に当事業所にて、お子さまの活動の様子を見学してもらって、話し合いを実施しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		10		地域との交流の必要性を感じています。検討し改善に努めています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			送迎時にお会いできる保護者に対しては、日頃の様子のお話し合いなど配慮しておこなっていますが、お会いできない保護者に対しては、細やかな対応は足りていないところもあります。更なる連絡方法の工夫と改善に努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10			更にもっと増やし、内容も充実していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			意識して行っています。引き続き、ご満足いただけるように努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			定期的に行っています。引き続き、ご満足いただけるように努めています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			同意を得ています。引き続き、ご満足いただけるように努めています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			その都度、保護者より相談の意向があった場合には、すぐに時間調整を行い、面談か連絡にて話し合いをおこなっています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1		祝日イベントは保護者やきょうだいが来所できるようにしたこと、保護者同士や子ども同士のコミュニケーションが取れています。また、イベントには、無料できょうだいも参加していただいています。その他、親子体験会や、勉強会や交流会も実施しています。しかし、人数的に参加率はそれほど多くないので、更なる工夫を行ってまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			相談を受けた場合には、関わっている職員全員で話し合い、共有し、より良い対策を考慮し対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			事業所で導入しているHUGソフトや、保護者メールにより、常に保護者様にはお知らせをおこなっています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			HUGにより、色々と情報を掲載していますが、他の友だちの顔部分を分らないように隠して公開するなどの配慮や、SNSへの投稿や動画配信などは一切載せないことなど、十分に配慮し気を付けています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			「目で見てわかること」を大切に周り方には最善の工夫を考慮している。特に一人ひとりの発達の段階や年齢に応じて、場面の切り替わりや、事前予告など工夫をおこなっている。保護者に対しても、分かりやすく説明をおこない、見通しを持って安心してもらえるように配慮しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		ビジョントレーニングの事例共有会や、映画上映会などには、地域の方たちや各関係機関の皆様を招待しておりますが、当事業所におけるイベント行事には、利用者とそのご家族以外の招待はしておりません。保護者様に確認の上、検討して考えていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			更なる強化が必要。改善に努めています。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			更なる強化が必要。改善に努めています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	5		服薬や持病などの確認は事前に行っていますが、予防接種の確認はとれていません。改善に努めています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		10		食物アレルギー・花粉アレルギーについては、事前に詳しく聞き取りは行っているが、医師の診断書はいただけていません。これから検討していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			定期的な見直しや話し合いが必要。改善に努めています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			定期的な見直しや話し合いが必要。改善に努めています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		その都度、記録し、全職員で話し合いを行い改善に向けています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		年に一度、全職員に研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		危険が予測される場面においては、その動きを制止する場面も起こりうることを、事前に説明を行っています。	